

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2012 助成の概要と推薦理由

助成番号 12-1-2

プロジェクト名 全国小児がん経験者大会
団体名 小児がんネットワークMN(みんななかま)プロジェクト
代表者名 小俣 智子
所在地 東京都
助成額 243万円
助成期間 2012年7月1日～2013年3月31日
設立年 2005年
U R L <http://www.accl.jp/mnproject>



子どもの病気死亡率第1位の小児がんは、医学の進歩などにより治癒率が7～8割に向上してきた。これにより成人していく小児がん経験者も増加しているが、治療の後遺症なども含めて、復学、進学、就職など多様な課題を抱えている。

この団体は、小児がん経験者や支援者が集まり、病気になったことをプラスに捉え、社会に向けた自主的な活動を展開し、ネットワーク構築に貢献するための活動を行っている。

今回の助成は、2012年12月に「全国小児がん経験者大会」を横浜で開催することで、これまで集まることの少なかった全国の小児がん経験者が一堂に会して経験を共有し、「宣言」の作成を通じて当事者の声を集約し広く発信する計画である。

今年（2012年）は国のがん政策が5年ぶりに見直され、ようやく小児がん政策がスタートしたと言われており、本プロジェクトはそれに呼応したタイムリーな企画である。今回の大会を通じて、当事者である小児がん経験者のネットワークが広がり、経験を共有することで、課題を乗り越える力につながるとともに、小児がん経験者が抱えている課題が広く社会に知られ、支援につながることを期待して助成する。